



2018年2月26日

各 位

会社名 日本曹達株式会社
代表者名 代表取締役社長 石井 彰
(コード番号4041 東証第一部)
問合せ先 総務グループリーダー 竹内 哲
(TEL 03-3245-6053)

シンジェンタ社との新規種子処理技術における グローバルライセンス契約の締結に関するお知らせ

当社とシンジェンタは、主要農作物における、新規の種子処理技術によるピシウム病防除のために、当社が開発した新規農薬原体「ピカルブトラゾクス」の製品開発・登録を推進するグローバルライセンス契約を締結いたしました。

「ピカルブトラゾクス」は、新規骨格のテトラゾリルオキシム系殺菌剤で、新規の作用機構と推定され、ピシウム属菌に優れた効力を示します。シンジェンタの種子処理によるピシウム病防除技術に「ピカルブトラゾクス」を組み合わせることにより、効果的な病害防除管理が可能になります。

シンジェンタ・シードケア・グローバルヘッドのイオアナ・チューダー氏は、次のように述べています。「日本曹達が、この優れた技術を世界の種子産業や農家にもたやすために、シンジェンタと提携したことを嬉しく思います。新規の作用機構をもつ「ピカルブトラゾクス」により、トウモロコシ、大豆、なたね、麦類およびその他の作物における、シンジェンタのピシウム病防除ポートフォリオが強化されるでしょう。」

種子処理用途としての「ピカルブトラゾクス」の最初の登録は、2019年の米国およびカナダでの取得を予定しています。

以 上

【新規殺菌剤「ピカルブトラゾクス」について】

当社は、新規農薬原体「ピカルブトラゾクス」を含有する殺菌剤の国内農薬登録を、2017年に取得いたしました。同殺菌剤は日本国内において、「ナエファイン」「ピシロック」「クインテクト」という製品名で販売を開始しております。

当社は、引き続き効力に優れ、安全性が高く環境に配慮した農薬の開発を通じて、食糧安全保障と持続可能な農業に貢献してまいります。

【日本曹達について】

日本曹達は、1920年の創業以来、独自の技術とノウハウを蓄積し、農業、医薬品、特殊化学品など多岐にわたる分野で高機能・高付加価値の化学製品を提供してまいりました。また、化学物質を取り扱う企業として、レスポンシブル・ケアの考え方を常に意識し、環境、安全、健康に配慮した事業活動を行ってまいりました。これからも革新的な技術や製品を通じて、次世代の夢を実現する豊かな社会の構築に貢献いたします。

詳細は、<http://www.nippon-soda.co.jp/> をご参照ください。

【シンジェンタについて】

シンジェンタは、アグリビジネスのリーディングカンパニーです。数百万の生産者が限りある資源を有効利用できるよう支援することにより、世界の食料安全保障の向上に貢献しています。ワールドクラスの科学と革新的な作物ソリューションを通じて、世界 90 カ国以上で 2 万 8,000 人超の社員が作物生産の変革に取り組んでいます。私たちは、劣化した土地の回復、生物多様性の促進、および農村地域社会の活性化をコミットしています。更に詳しい情報は、<http://www.syngenta.com/>、www.goodgrowthplan.com および <http://www.syngenta.co.jp>（日本語）をご覧ください。またはツイッター www.twitter.com/syngenta でシンジェンタをフォローしてください。また、シンジェンタ・シードケアの詳細は、<https://www.syngentaseedcare.com/> をご覧ください。